



スポーツ庁

観光庁



A MEMBER FEDERATION



J.A.S.C. Foundation

2025MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波大会

公式通知 No. 2

2025年 6月 3日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

- ・全日本ロードレース選手権シリーズでは、wowtalkアプリを使用した情報発信を行っております。大会前にアプリのインストール及びお知らせしたID・パスワードにてログインし使用方法をご確認ください。
- ・大会期間中、入場する全ての車両は、発行された車両通行証を外部から確認できる位置に提示してください。
- ・年間エントリー者は、Aパドック内ピット裏スペースへのテントの設置及び車両の留め置きを可能といたします。
- ・駐車場（エントラント駐車場、貸しガレージ等）でのエンジン始動は禁止です。近隣の迷惑となりますので7時20分～17時の時間帯にAパドック内で行って下さい。マシンは押し歩きに限りです。

1. 駐車場・パドックの使用について

車両は指定された場所以外に駐車してはならない。また、エントラント駐車場でタイヤ・ガムテープ・ひも等物品による場所取りは無効であり、撤去する場合がある。もしその行為によって損害等が生じた場合でも一切の責任は負わない。なお、場内へはFゲートから入場すること（終日オープン）。

2. 選手受付

(1) 受付場所：筑波サーキットホール / 受付時間：タイムスケジュール参照

(2-1) 年間エントリーのライダーの提示物

①参加受理書 ②エントラントライセンス (MFJライセンスの確認は行わない。) ③MFJメディカルパスポート

(2-2) スポット参戦のライダーの提示物

①2025MFJ競技ライセンス (提示できない者は理由の如何に関わらず出場できない) ②参加受理書
③車両仕様書 ④装備申告書 (無記入の車両仕様書・装備申告書では受付できない) ⑤賞金振込指定用紙
⑥MFJメディカルパスポート (記入済みの物) ※健康保険証は、必ず所持しておくこと。

※時間外の受付および規定枚数以上のパス・通行証の発行は一切行わない。(パスの再発行は5,000円を必要とする)

※大会を欠場するライダーは必ず大会事務局に申し出ること。

3. ピットクルー

- (1) 年間エントリーチーム・スポット参戦チーム共にピットクルーのカードおよびMFJピットクルーライセンスの確認は行わない。
- (2) 年間エントリーチームからスポット参戦するライダーのピットクルーについては、MFJおよびART規定によりパスの発行枚数が制限される。スポット参戦チームに対して規定枚数のピットクルーパスを後日チーム宛に送付いたします。
- (3) ピットクルーの変更がある場合には選手受付にて申し出ること。ただし、スポット参戦チームについては変更料(1,100円/1名)が必要となる。
- (4) ピットクルーライセンスおよびピットクルーパスの不正使用があった場合には不正入場とみなし、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

4. 公式車両検査 (タイムスケジュール参照)

(1) 年間エントリーチーム：訪問車検形式とする

(2) スポット参戦

①場 所：Aパドック内車検場 / 車検場裏 (音量測定)

②提示物：1. 参加車両 2. 車両仕様書 (受付印済みのもの)

3. 装備申告書 (受付印済みのもの) 4. ガソリン購入証明書 5. 装備一式

※J-GP3スポット参戦者は、車検時にライダー込みの重量測定を行いますので、必ず完全装備の上で車検に臨むこと。

(3) 全ての参加者は、燃料を購入の際、ガソリン購入証明書に証明印<6月13日(金)~有効>を受け、公式車検終了時まで提出すること。やむを得ず終了時まで提出できない場合、当該予選開始時まで車検員に提出しなければならない。

(ガソリン購入証明書は大会事務局・筑波サーキット内アポロステーションにも用意してあります)

5. 装備検査について

J-GP3クラス公式車検での装備検査を実施する。

年間エントリー・スポット参戦共に、スポット参戦車検時間に装備検査を車検場で受けること。

・ヘルメット ・レーシングスーツ ・グローブ ・ブーツ ・ヘルメットリムーバー ・脊柱プロテクション

・胸部プロテクション ・エアバッグ (22歳以下および55歳以上必須)

※全ての装備を検査いたします。持ち込み忘れのないようご注意ください。

※胸部プロテクションはCE規格「EN1621-3 (Level 1または2)」適合品。

※脊柱プロテクションはCE規格「EN1621-2 (Level 1または2)」適合品。

5. 音量測定について

スポット参戦車検時間に、全車音量測定を実施いたします。車検場にて、車両及びスペアサイレンサーの音量検査を受けること。

・音量測定実施日時：6月20日(金) 14:40~15:20

※ただし、やむを得ず上記指定時間に音量測定を受けることができない場合、大会事務局へ申告すること。

6. ライダースブリーフィング

ライダー全員に対し、ライダースブリーフィングを、Aパドック内1～11PITピット2F、VIPルームにて行う。(タイムスケジュール参照のこと)時間厳守の上ライダー本人が必ず出席すること。出欠が取られ、欠席は10,000円、遅刻は5,000円の再ブリーフィング手数料が科せられる。やむなく欠席する場合には、チーム責任者が事前に書面にて申請し、競技監督の許可を受けなければならない。

7. コースイン・コースアウト

- (1) 予選・決勝レースを通じ、コースインはBゲート(コントロールタワー横)に加え、ピット開口部より行うことができる。ピットエリアにマシンを入れるタイミングはオフィシャルの指示に従うこと。
- (2) 予選・決勝レースを通じ、コースアウトはAゲートに加え、ピット開口部より行うことができる。
- (3) 予選において一度パドックに入った者は、オフィシャルの管理下のもとコースに復帰することができる。
- (4) 決勝レース中のピットボックス内での作業はできない。ただし、レース中断中によるインターバル時は除く。
- (5) コースイン、コースアウトの際、走路とピットレーンを区分するホワイトラインおよびイエローラインを横切ってはならない。

8. ポストの運用について

バックストレート中間付近に設置されている5ポスト背面側(バックストレート側)は、6.5ポストとして運用する。旗の運用も、他のポストと同様とする。

9. トランスポンダーについて

全ての参加者は、主催者が用意するトランスポンダーを車検時に装着し走行しなければならない。取付場所はメインフレームのピボットシャフト付近とする。配布はART合同走行受付時に行う。返却は最終走行終了後1時間以内に行うこと。

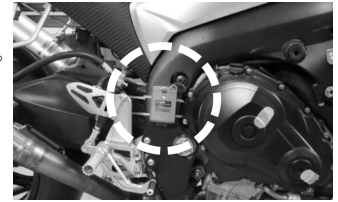
また、走行の際は必ずトランスポンダーを取り付けて走行すること。

MY LAPS Japan(株)製 マイポンドラーの使用が認められる。

使用する場合は、ART合同走行受付時にポンドラーIDを添えて使用の旨を申告すること。

ただし、競技役員により指示された場合は、主催者の用意するトランスポンダーに付け替えること。

※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体：72,000円/ホルダー：1,000円(料金はいずれも税込です)



10. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は7:20から17:00までとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。

※Aパドック内での暖機運転が認められるが、マシンの移動は全て押し歩きとする。

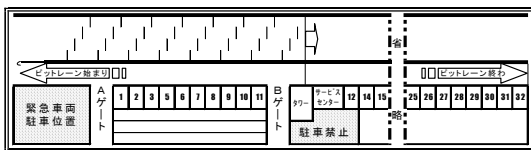
ただし、6月20日(金)のART走行日は、乗車移動を可能とする。

11. ピットレーン先端(ピット前)シグナルランプについて

予選・ウォーミングアップラン・決勝レースを通じてピットレーン先端のシグナルライトは、緑(コースイン可)または、赤(コースイン不可)のいずれかとする。公式予選またはレース中は青ライトが常に点滅されるが、ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと。第1ヘアピンをクリアするまではコースの右端を走ること。

12. ピットレーン走行時の注意事項

- (1) ピットレーン走行中の違反は重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落として常に停止できる状態で走行すること。なお、ピットレーンの制限スピードは40km/h以下とし、違反した場合には罰則が科せられる。
- (2) 制限区間は、コンクリートウォール延長上のガードレール先端からコンクリートウォール末端までとする(下図参照)。
- (3) スピードの測定は、光電管方式の測定器(ピットレーン入口からピットレーンエンド)および移動式のスピードガンにて行う。
- (4) ピットクルーの行動範囲には制限があり、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーン上に出るはならない。従わない場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。



13. ピットボックスの使用について

- (1) ART管理のもとJ-GP3年間エントリー者に対し、No.12～32ピットボックスの割り振りを行う。割り付けについては別紙にて案内する。なお、No.1～9ピットにおいては割り振りが行われず、予選・決勝を通じ行われている当該クラスのチームが優先で使用できる。また、併催クラスが行われる時間帯は、そちらが優先となる。なお、No.10・11ピットは主催者にて使用する為、使用することが禁止される。
- (2) 多量の電気を必要とする場合は、各自で発電器(ジェネレーター)を用意すること。タコ足配線は厳禁とする。
- (3) ピット数の関係上、迅速な搬入・撤収および共同使用のご協力をお願いします。

14. ショートカット

予選・ウォームアップ・決勝レースを通じ、ショートカット(アジアコーナー5番ポスト脇)の使用は禁止される。使用した場合、罰則が科せられる。

15. 走路外走行

走行中、ライダーは常に走路を走行しなければならない。危険回避等のやむを得ない場合を除き、故意に走路を外れること(走路外走行)は認められない。対象となる場所は、最終コーナー立ち上がりアウト(左)側、縁石外側の退避レーン(緑色ペイント部分)とし、違反した場合、当該ラップは無効とする。

16. 公式予選

- (1) 計時予選の義務周回数には設けない。予選回数は、各クラス1回とする。
- (2) 予選通過基準タイム：各クラスストップタイム上位3名の平均108%以内とする。

17. ウェイティングライダーの扱い

- (1) ウェイティングを希望するライダーは、正式予選結果発表30分以内に、申請書を大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 申請書提出者のうち、各正式予選結果のタイム順上位3位までがウェイティングライダーとして認められる。
- (3) 各レースの予選通過者で決勝レースに出場できない者は、必ずリタイア届を提出すること。
- (4) 出走の可否は、審査委員会によって審議され、正式グリッド表にて発表する。

18. 出走嘆願書の扱い

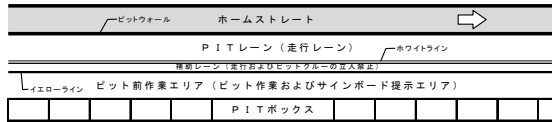
- (1) 予選基準タイムに満たない選手について、過去の実績を考慮した上で、審査委員会の判断で出走を認める場合がある。
- (2) 予選に出走していないライダーの出走嘆願書は受け付けられない。
- (3) 出走嘆願書の提出期限は、正式予選結果発表後30分以内とする。
- (4) 出走の可否は、審査委員会によって審議され、正式グリッド表にて発表する。

19. 決勝グリッドについて

- (1) グリッド列ごとの台数配分は3-3-3-3…の階段式で、ポールポジションは最前列進行方向左側とする。
- (2) 決勝グリッド数は36台とする。
- (3) サイティングラップ終了後にグリッドに戻ったライダーは、グリッド後方でフラッグマーシャルが赤旗2本を静止提示している場所でエンジンを止め、車両を一旦停止の後、手押しで所定のグリッド位置につくこと。グリッドへの移動は押し歩くような速度とする。その際、ライダーは降車しても乗車のまま移動しても良い。
- (4) グリッド上でタイヤウォーマーの為のジェネレーター（蓄電池式含む）が使用できる。そのジェネレーターは、1人で持ち運び可能なハンディタイプ（市販状態でジェネレータの取っ手が一つのもの）とし、マシン1台につき1台とする。ジェネレーターは、自分のマシンの近くに配置し、他のマシンの移動に支障が無いようにすること。
- (5) サイティングラップ終了後、グリッドで観客サービスのためヘルメットを脱ぎ、『3分前』ボードで着用して下さい（雨天時中止）。
- (6) すべての調整および作業は、ウォームアップ開始「3分前」のボードが出るまでに完了しなければならない。グリッド上のマシンのタイヤウォーマーはすみやかに取り外さなければならない。
- (7) ウォームアップラップ開始時、ピットレーン出口のグリーンライト点灯時間は、10秒間とする。
- (8) スタートディレイド時、ライダーはヘルメットを取らずに各自のグリッドにて待機すること。マシンのエンジンは停止させないことを基本とし、この時点でメカニックがグリッドに立ち入ることはできない。

20. サイティングラップ中の複数走行について

5、4、3、2、1分前の順にカウントダウンボードが提示している間に、ライダーは、ピット走行レーンを通過した上で、サイティングラップを1周以上行うことが出来る。その際、ピットボックス前作業エリア（ピット作業及びサインボード提示エリア ※下図参照）では調整作業、ならびに給油を行うことが認められる。また、一旦グリッドについても時間内でピットレーン出口が開いてればオフィシャルの誘導のもと、車両をピット作業エリアに運びだし、再走行することは可能とする。サイティングラップに参加できなかったライダーは、ウォームアップラップ開始5分前までは、オフィシャルの指示に従って自分のマシンをグリッドに押して行くことができる。



※ピットレーン走行中は、細心の注意を払い事故防止に努めてください。

21. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	レース距離	成立周回数
J-GP3	20L	15L	41.4km	13L

※各クラスにおいて、WE T時（WE T宣言が提示された場合）は、決勝レース周回数を2周減算する場合がある。その場合各レースのサイティングラップ開始までに公示される。

22. ジャンプスタート

- (1) ライドスルーペナルティー
 - ①当該ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードをコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。
 - ②当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。
 - ③ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。
- (2) レース終了までにペナルティが消化できないときは、競技結果へ30秒加算する場合もある。
- (3) RIDE THROUGHボードは5.5Pでも提示される。

23. レースの終了・暫定表彰式

- (1) チェッカーフラッグの提示される場所は、フラッグタワーとする。また、視認性向上のためフラッグタワー下（後方）でも補助的に出される場合がある。
- (2) 各レースの終了は、トップのライダーがゴールしてから2分を経過した時刻とする。
- (3) チェッカーフラッグ提示後に、オフィシャルの許可なくピットクルーがコース上に出ることは安全上禁止される。なお、ライダーにフラッグ等を渡す場合には、ドライバーズサロン横のゲートに場所が限定され、オフィシャルの指示に従って行うこと。
- (4) 各クラス1～3位までの入賞者に対し、コース上で暫定表彰式を行う。全競技終了後の表彰式は行わない。

24. J-GP3の重量測定

J-GP3 Race 1・2 1～6位のライダーに対して、決勝レース終了後、体重測定をコントロールタワー付近にて行います。直接表彰台へは行かずに全車ピットインし、オフィシャルの指示に従い測定を受けて下さい。なお、体重の維持管理の為、該当するライダーは計測終了まで食物・飲料水等を摂らないようにご注意下さい。

25. サーキット内供給燃料とガソリン検査について

- (1) 全ての参加車両は、筑波サーキット内のアポロステーションで販売される無鉛ガソリンを使用しなければならない。
(2) サーキット内で供給される燃料の銘柄と性状

供給ガソリン性状表		無鉛ガス(スーパーアス)
鉛含有率 g/l		無加鉛
リサーチオクタン価 (RON)		99.6
密度 (15℃) g/cm ³		0.7464
酸素含有率 (重量に対する%)		0.7
ベンゼン含有率 (重量に対する%)		0.4
販売単価 (10)		価格は相場により随時変動します。

- (3) 営業時間：
6月20日(金) 7:00~16:30
21日(土) 7:00~16:30
22日(日) 7:00~16:00

- (4) MF Jロードレース競技規則に従い燃料検査を行う場合がある。

- (5) 公式予選中、競技監督の指示によりガソリンの抽出検査を行う場合がある。指定された車両は公式予選終了後に車検場にて検査を受けなければならない。また、審査委員会が必要と認めた場合にはレース期間中いつでも検査が実施される。

26. 入賞者記者会見

- (1) 各決勝レース1~3位の入賞者は、暫定表彰式終了後に入賞者記者会見に出席しなければならない。
(2) 上記、記者会見はプレスルームにて行う。時間はタイムスケジュール参照のこと。

27. 賞典

- (1) J-GP3クラス、Race1・2の1~6位入賞者に対し、正賞のトロフィーを大会事務局にて授与する。ライセンスなど身分証明できるものを持参すること。
(2) 賞金は、以下の通り設定される(単位:万円、表記金額より源泉税が差し引かれます)。
(3) J-GP3クラス、Race1・2の1~3位入賞者に対し、筑波賞として賞金を授与する。(賞金額は下記表参照)
(4) J-GP3クラス、Race1 ポールポジション獲得者に対し、筑波賞としてポールポジション賞10万円を授与する。
(5) J-GP3チャレンジクラス、決勝正式結果1~3位の選手に対し、筑波マイスター・トロフィー Over 60 Kid's選手会より、賞金が授与される。賞金額は、後日発表される。
(6) 5万円を超える賞金獲得者は、マイナンバーの届けが必要となる。マイナンバーの確認後賞金が振り込まれる。

2025MF J全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 賞金スケール表

J-GP3 Race1	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	小計
正賞	13.5	9	6.75	4.5	3.6	3.15	2.7	2.25	1.8	1.35						48.6
筑波賞	7.5	5	2.5													15
合計	21	14	9.25	4.5	3.6	3.15	2.7	2.25	1.8	1.35	0	0	0	0	0	63.6

単位:万円

J-GP3 Race2	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	小計
正賞	13.5	9	6.75	4.5	3.6	3.15	2.7	2.25	1.8	1.35						48.6
筑波賞	7.5	5	2.5													15
合計	21	14	9.25	4.5	3.6	3.15	2.7	2.25	1.8	1.35	0	0	0	0	0	63.6

単位:万円

エントリー台数	25台以上	20~24台	15~19位	11~14位	6~10位	5台以下	Race1・2賞金合計
賞金基準	10位	8位	6位	4位	3位	1位	127.2

単位:万円

28. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷した場合、必ず最初に施設内の医務室で診断を受けること。医務室の診断記録がないと保険が支給されない。
(2) サーキット第1指定病院 : 茨城西南医療センター病院 〒306-0400 茨城県猿島郡境町2190 TEL:0296-87-8111

29. 肖像権等について

主催者はすべての参加者・ライダー・ピットクルーの肖像権およびその参加車両の写真・映像・音声などの報道・放送・放映・出版・ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

☆遵守事項・注意事項

- (1) パドック内は火気厳禁とし、施設側が指定した喫煙所を利用すること。
(2) サーキット内の安全管理の為、エントリー1台に対して消火器を1本携帯すること。
(3) ピット・パドック内等の清掃は各エントラントにて行って下さい。特に使用済みのタイヤ、部品等は各自で必ず持ち帰ること。
(4) サーキットに荷物を送る際には、受取人のチーム名・氏名・連絡先を必ず正確に明記すること。

お知らせ パドック間のコース横断・往来について

パドック間でコース往来ができるようにいたします。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるために行います。下記の部分を横断できるよう各走行のインターバル時に開放します。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック(1ヘアピン側側ゲート) ⇄ Aパドック(ドライバーズサロン脇ゲート)
2. メインスタンド側駐車場(P4) ⇄ Aパドック(ガソリンスタンド脇)

※朝の時間帯のコース横断可能時間は、土曜日 5:30~7:30、日曜日 5:30~7:30迄といたします。

以降は各走行インターバルでの開放となりますが、状況により、オープンできない場合もございますのでご了承ください。

本通知に記載されていない事項は、国際スポーツ憲章・FIM競技規則・2025MF J国内競技規則に準ずる。



2025全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦
大会事務局 白土 智一